

【件名】新たな公共交通サービスの導入について

【要旨】

公共交通ネットワークの充実に向けた取組として進めている新たな公共交通サービスの導入に関して、令和4年10月から令和7年9月まで実証運行を行い、その効果を検証することとしている。これまでの利用実績やアンケート結果等から、実証運行期間の総合評価をとりまとめ、その結果から10月以降も運行を継続することとし、その事業方針について以下のとおり報告する。

1 令和4年度～令和6年度の利用実績及び実証結果

令和6年度運行継続評価フローより、収支の実績が下限値を上回り、アンケートから50%以上の利用意向が確認できたことから運行を継続する。

2 令和7年10月以降の事業方針について

東京都の補助金（東京都持続可能な地域公共交通実現に向けた事業費補助金）が見込める令和7年9月をもって実証運行は終了し、10月以降は、区が運行経費を一部補助する「中野区コミュニティ交通」として運行を継続する。

・運行事業者及び運行経費の一部補助について

現在運行する実証運行路線において他路線と共通利用しているバス停があることや他路線との乗り継ぎ面を考慮し、引き続き関東バス株式会社による運行を継続する。本路線に関する運行経費の一部補助については、人件費の2分の1及び高齢者割引証補填分について補助することとし、今後要綱等にて定める。

3 他地域での展開について

本地域での経験を基に、同様に鉄道や路線バスのネットワークの構築がとくに難しく公共交通サービスレベルが低い地域においては、新たな公共交通の導入に向けた地域住民の主体的で段階的な活動を区でサポートをしていく体制を整備し、導入ガイドラインを作成する等、年度内運用に向け調整を進める。

4 今後のスケジュール（予定）

10月1日 中野区コミュニティ交通運行開始

10月以降 愛称・イメージデザイン等の募集（年度明け公表予定）